

第13回 主任級職員研修 の御案内

東北地方の地方公共団体には、人口減少、少子・高齢社会への対応やデジタル化の推進等の様々な課題への対応が求められており、若手職員も主体的・積極的に業務に取り組む必要があります。

この研修では、若手職員を対象に政策形成の基本に関する講義・演習、データ取得のツールのひとつである地域経済分析システム(RESAS) 演習に加え、法的裏付けとなる政策法務、政策立案推進に必要なコミュニケーション・プレゼンテーション、地域経済活性化等の講義・演習・グループ研究(現地調査を含む。)を実施し、根拠に基づく政策立案(EBPM)のプロセスの習得を図ります。

1 目 的

若手職員を対象に、根拠に基づく政策立案(EBPM)による政策形成能力の向上を図ります。

育成する人材の到達目標

- ① 根拠に基づく政策立案(EBPM)のプロセスの理解
- ② 政策法務の目的・効果及び条例立案の基本理解
- ③ 政策立案・推進に必要なコミュニケーション、プレゼンテーション技術の習得
- ④ 広い視野の獲得及びネットワークの構築

2 対象者・予定人数

受講時年齢：概ね25歳～34歳の職員 30人予定

※ 年齢は、派遣元自治体の推薦を尊重し、柔軟に対応します。

※ 「主任」とは「その任務を主として担当する人」の意味であり、実際の職位を表すものではありません。

3 実施期間・申込期限

令和7年6月23日(月)～7月18日(金)

申込期限：5月16日(金)

4 科目・時間・講師・概要 ⇒ 別紙「研修科目・講師名簿(予定)」のとおり

5 研修会場

公益財団法人 東北自治研修所(東北自治総合研修センター内)

〒981-3341 宮城県富谷市成田二丁目22-1(アクセスは、東北自治総合研修センターHPを参照してください。)

TEL:022-351-5771 FAX:022-351-5773

6 宿泊先

研修は、全寮制で行います。

宿泊先は、東北自治総合研修センター内の宿泊施設「青葉寮」(全室個室)です。週末は、外泊が可能です。

7 経 費

(1) 研修受講料は、無料です。(東北6県の負担金により、実施しています。)

(2) 青葉寮(宿泊施設)利用負担金

利用負担金の金額は、別途通知文書を確認ください。※食事代は、別途必要です。

- ・ 研修終了後に発行する請求書により、貴機関から指定口座へ振込み願います。
- ・ 前泊・後泊する場合は、4,100円/泊（夕食・朝食無し）を追加します。また、外泊する場合であっても、負担金は減額いたしません。

(3) センター内食堂での食事

- ・ 1週間を超える長期研修等以外の宿泊は給食制（夕・朝食含む宿泊）としていますが、主任級職員研修は長期研修のため、宿泊負担金と食事代を別に取り扱います。夕・朝食を希望する受講者は、受講決定時の案内に従い、所定の様式で申込みください。昼食の事前申込は、不要です。

〈参考定食価格（税込）：朝食600円、昼食750円、夕食900円 詳細は、東北自治総合研修センターHPを御覧ください。〉

(4) 準備物

- ① 書籍等：研修のテキストとして、事前に準備いただく書籍は、次のとおり予定していますが、受講決定時に改めてお知らせします。
 - ・ 「自治六法」又は「地方自治小六法」（できれば最新版） 出版社は問いません。
※講義及び自主学習用
- ② パソコン：マイクロソフトオフィス又は互換ソフト使用可、Wi-Fi接続可（IP設定は自動）のもの
- ③ その他：共済組合員証、寮生活に必要な日用品等。 詳細は、受講決定時にお知らせします。

(5) 現地調査経費

- ・ 現地調査の交通費として、数千円が必要となる場合があります。調査先は、グループで選定します。

8 開・閉講式

- (1) 開講式：令和7年6月23日（月）午後1時から ※正午までに、受付してください。
- (2) 閉講式：令和7年7月18日（金）正午から

9 新型コロナウイルス対策

「東北自治研修センターにおける新型コロナウイルス感染症感染防止対策について」（HP掲載）に御協力をお願いします。

10 施設の概要

- 研修棟：講堂1室、教室7室、演習室20室、図書室〔蔵書約8,000冊、パソコン(インターネット接続)・DVD〕、ラウンジ8室等 / Wi-Fi 対応
- 宿泊棟：宿泊室250室(うち身障者用3室)、娯楽室、談話室、大・中浴場（シャワールームあり）、食堂、売店、／有線LAN・Wi-Fi 対応
- 屋内外施設：体育館（バレーボール・卓球等）、テニスコート、駐車場（270台）

※詳細は、東北自治総合研修センターのホームページをご覧ください。

11 連絡先

公益財団法人 東北自治研修所

〔東北6県の自治体職員の資質・能力の向上を図るため、6県の出資により設立された法人です。〕

URL：http://www.thk-jc.or.jp/thk-index.htm TEL：022-351-5771 FAX：022-351-5773

担当：佐々木信一 E-mail：kensyu@thk-jc.or.jp

科 目		時間	回	講 師	概 要
基本 科目 31h	地方自治法	10	3	白鷗大学法学部 教 授 岩 崎 忠	〈講義、グループ演習〉 ・ 地方分権一括法施行後の地方自治法 ・ 事例検討（演習）
	政策形成能力開発	14	4	(株)行政マネジメント研究所 専任講師 兼 松 方 彦	〈講義、グループ演習〉 ・ 政策形成の本質、プロセス、手法
	コミュニケーション・ プレゼンテーション	7	2	(株)話し方研究所 講 師	〈講義、グループ演習〉 ・ コミュニケーション及びプレゼンテーション能力向上に必要な理論と技法
演 習 科 目 88h	政策法務	31	10	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 教 授 板 垣 勝 彦	〈講義、グループ演習、発表・講評〉 ・ 政策法務の目的・効果 ・ 地方公共団体の自治立法権の理解 ・ 法制執務 ・ 課題事例研究演習 ・ 条例立案演習
	少子・高齢社会の政策 戦略	15	5	東北大学大学院経済学研究科 教授 同 高齢経済社会研究センター センター長 吉 田 浩	〈講義、グループ演習、発表・講評〉 ・ 少子・高齢社会の現状及び自治体財政・ 政策に及ぼす影響 ・ 自治体の将来人口推計演習 ・ 福祉政策の人口・財政等への影響に関する 推計演習
	地域経済活性化	39	11	七十七リサーチ&コンサルティング株式会社 調査研究部 研究顧問 大川口 信一	〈講義、グループ演習（現地調査含む）、 発表・講評〉 ・ 根拠に基づく政策立案（EBPM）のプ ロセス ・ 地域経済の効果分析・事業効果の見える 化 ・ 地域経済活性化をテーマにした政策立案 グループ演習
	地域経済分析システム （RESAS）の活用	3	1	経済産業省東北経済産業局 総務企画部企画調査課職員	〈演習〉 ・ 地域経済分析システム（RESAS）の基 本操作、活用事例、演習
講 話 6h	東北まちづくりオフサ イトミーティング	3	1	山形市健康医療部 健康増員課長 後 藤 好 邦	〈講話〉 ・ 自治体の枠を超えて、行政マンのネット ワークを構築、情報を共有し、研鑽を勉 める自身の活動
	住民協働による地域活 性化	3	1	(有)プランニング開 代表取締役 新 田 新一郎	〈講話〉 ・ 住民協働により地域を活性化する手法等 に関する講師の豊富な体験談
他 9h	スピーチ演習ほか	4	15		スピーチ演習、事務連絡
	開講式、閉講式ほか	5	2		開講式、閉講式、オリエンテーション
計		134	55		

第12回 主任級職員研修（令和6年度実施）受講者の感想より

【コミュニケーション・プレゼンテーション】

コミュニケーションの技術について、様々な方法をグループワーク等で実践的に学ぶことができました。長期的な練習で徐々に身に付けていくような内容もあったので、職場に戻ってから講義で学んだ内容を意識していきたい。

（県職員 事務職）

【政策形成能力開発】

講義の中で目的、目標、成果及び効果などの言葉の違いを理解しながら、考え方のフレームを構築する方法を学んだことで、政策形成に対する知識が深まりました。

（県職員 事務職）

【政策法務】

条例の関係性や、条例を立案する際の考え方など体系的かつ実践的に学ぶことができました。また、条文自体の意義についての考え方も大変勉強になる研修でした

（市町村職員）

【地域経済分析システム（RESAS）の活用】

膨大なデータから自分が必要としているデータを探し出すためのテクニックは、今後の業務にも活かすことができると感じました。

（県職員）

わかりやすい説明で要点が絞られていたので使い方もすぐ覚えることができました。今後、資料作成等の際に積極的に使用していきたいと思います。

（県職員）

【少子・高齢社会の政策戦略】

改めて人口減少・少子高齢社会の背景や課題を学ぶことができ、行政として取り組むべき喫緊の課題であると再認識しました。将来人口推計や政策科学による自治体シミュレーションなどのデータ分析から、効果的な政策立案に繋げていきたい。

（市町村職員）

【地域経済活性化】

地域経済循環分析システムを活用して対象地域の所得循環構造をはじめとする経済状況を分析することで、効果的な根拠に基づいた政策立案に繋げることが出来ると実感しました。学びの多い演習科目でした。

（県職員 事務職）

【地方自治法】

基礎的な内容から実務に近い職務権限等の細部までを、講師自身の経験を交えながら網羅的に学ぶことができ、深い理解につながりました。講義の合間に択一問題による振り返りや参考資料による図示などが挟まれていたことも、メリハリが効いて分かりやすかったです。

（県職員 事務職）